

令和5年度 学校評価(定時制課程) 2 （指導内容別数的評価及び指導改善対応策に対する適切さの評価）

- (1) 教員による自己(内部)評価について、その適切さについて学校評議員が4段階で評価したものである。
- (2) 分掌等の次年度の取組に関する対応策に関して、その適切さについて学校評議員が4段階で評価したものである。

指導項目等	評 価 項 目	教員		学校評議員
		自己評価		適切さの評価
学習指導	1 学習習慣の定着や、個々の基礎学力の向上が図られたか。	3.1	3.2	3.5
	2 授業改善と工夫を計画的かつ継続的に行ったか。	3.2		
	＜対応策＞			対応策の適切さ
	・ICTを活用した授業を推進し、分かる授業づくりを目指した授業改善に取り組む。 ・新入生に中学校時の基本的な内容の学び直しを行い、学ぶ意欲を向上させる。			3.5
進路指導	1 生徒一人一人が目標をもち、学年進行に応じた自己の在り方・生き方を考えさせることができたか。	3.1	3.1	3.5
	2 個に応じた進路資料の提供や進路相談、外部機関との連携を図ることができたか。	3		
	＜対応策＞			対応策の適切さ
	・生徒のさまざまな進路希望に沿って、組織的に対応する。 ・進学希望の生徒の増加に伴った個別な対応及び組織的な取組を推進していく。 ・学校外部の関係機関と連携した情報提供と進路相談を推進していく。			3.5
生徒指導	1 挨拶の励行、遅刻・早退の減少、問題行動の未然防止が図られたか。	2.9	3.1	3.5
	2 家庭や保護者との連携を十分に図り、生徒理解や生徒指導に活かすことができたか。	3.2		
	＜対応策＞			対応策の適切さ
	・発達段階に応じた基本的生活習慣を確立する指導を継続していく。 ・いじめの認知数は0であり、今後も生徒理解に努めて今後もいじめ防止に努める。			3.5
健康・安全指導	1 生徒の健康管理や危険回避に向けて十分にに取り組むことができたか。	3.3	3.4	3.8
	2 カウンセリングを含む教育相談体制の充実と支援が図られたか。	3.6		
	＜対応策＞			対応策の適切さ
	・今後も継続して感染症感染防止の対策を十分に講じて、安全で安心して登校できる学習環境づくりに努める。 ・防災訓練の改善に取り組み、防災に対する意識の高揚を図る。			3.5
生徒会	1 個々の生徒が活躍できる場を提供し、活動できたか。	3.7	3.6	3.8
	2 行事等をとおして、生徒に組織及び個人として活躍できたと実感させられる指導ができたか。	3.6		
	＜対応策＞			対応策の適切さ
	・学年の枠を超えた行事などを通した取組により、コミュニケーション能力を高め、社会性を身につける活動を推進する。 ・部活動や生徒会行事をを通して、生徒間のや教員との絆を築き、いじめのない学校生活の環境を整えていく。			3.5
信頼される学校づくり	1 保護者面談やPTA活動などを通じて、保護者の要望や意見を把握することができたか。	3	3	0
	2 保護者や学校評議員、地域の方の意見を聞き、学校運営や教育活動に活かすことができたか。	3		
	＜対応策＞			対応策の適切さ
	・本校の教育活動における取組や生徒の活動の状況についてさらに情報提供に努め、開かれた学校づくりに努める。 ・生徒や保護者のみならず学校関係者等の声に傾聴し、教育活動や学校運営に活かしていく。			3.5
【学校評議員からのご意見・ご要望・ご助言等】				
・少人数体制のため、教員の業務が多岐にわたり、1人の教員が抱える業務が過重となっていると思われるが、外部機関との連携や協力、学校行事や業務の精選を行うなどして、働き方改革を進め、無理のない教育活動及び校務運営を進めてもらいたい。				